
凍った感情

黎奈姫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

凍つた感情

【ZPDF】

N1859M

【作者名】

黎奈姫

【あらすじ】

心の闇をした少女の想い。

あなたもこんなふうにおもつたことはないですか？

『傷つくのが怖い。』

と。

私の心は、いつも凍つている。

いつから凍つっているだろうか。

凍っているのだから感情も揺るがない。動かない。

でも、何かいやなことを、言われたび、感情が凍つてしまつ~~気~~がする。

感情が、凍つているということは、

感情がないのと同じ。

だから心は、空っぽ。

そう思っていた。

でもある子が、ある言葉を言つてくれたの。

その言葉で、感情を凍らせていた、氷が少し解けた気がした。だからかな。今まで気にしなかつたことを意識してしまつのは。意識して、こんなにも傷つくとは思つてもみなかつた。今まで何とも思わなかつたのに。

そのとき私は、悟つた。

人の言つた言葉を、簡単に信じてはいけないと。

勝手に信じて、勝手に傷つくのは、私自身。

だったら、誰も信じたりしなければいい。

心を開かなければいい。

ずっと、感情を凍らせとけばいい。

そう思つるのは、私だけでしょうか。

こんな考えをするのは私だけなんでしょうか。

でも、こんな考えの私だから、周りの人も私から遠ざかるのでしょうか。

こんな私を、理解してくれる人はいるのでしょうか。

きっとないでしょうね。

そんなに甘い世界ではないし、いたとしても、私と同じ思いをして

いる人にしかわからないでしょう。

そんな人、めったにいないと思うから、私は、いつも一人なんだ。
いつかこの世に生まれて楽しいと思える日が来ないだろうと私は思
つた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1859m/>

凍った感情

2010年10月11日07時17分発行